

「マイナビ 2023 年卒大学生のライフスタイル調査
～ 今年の就活生の with コロナ 2 年目の日常は? ～」を公表
興味のある社会問題は、「少子化・働く女性支援」がトップに
選挙で投票したことがある学生は約 8 割

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、2023 年卒の大学生・大学院生を対象に「大学生のライフスタイル調査 ～今年の就活生の with コロナ 2 年目の日常は?～」を実施いたしました。調査概要は以下の通りです。

《TOPICS》

- ◆ 「夫婦共働き」を希望する割合は男子 59.9%、女子 74.5%。結婚を望まない割合は男女とも初めて 1 割を超える【図 1、2】
- ◆ 「育児休業を取って積極的に子育てしたい」割合は男女ともに半数を超える。一方で「今のところ子供は欲しくない」が調査開始以来最高に【図 3、4、5】
- ◆ 興味のある社会問題は「伝染病・感染症対策」が半減し、「少子化・働く女性支援」がトップに【図 6、7】
- ◆ 選挙で投票したことがあるのは約 8 割。投票に行かない理由のトップは「地元に戻らないと投票できないから」【図 8、9】

【調査概要】

23 年卒の大学生・大学院生に結婚後の仕事に関する考えを聞いたところ、「夫婦共働き」を希望する割合は、男子 59.9%（前年比 1.0pt 増）、女子 74.5%（前年比 0.8pt 減）だった。また、「結婚せず自分の収入のみで生活するのが望ましい」を選んだ割合が、男女とも調査開始以来最も高い割合となり、初めて 1 割を超えた。【図 1、2】

子育てについて「育児休業を取って積極的に子育てしたい」と回答した割合は、男子は 59.9%（前年比 3.4pt 増）、女子は 68.0%（前年比 1.9pt 減）だった。男子は 7 年連続の増加となり、14 年卒の調査開始以来、最高値を 4 年連続で更新した。また、「今のところあまり子供は欲しくない」の割合は、男子が 7.5%（前年比 2.0pt 増）、女子が 14.5%（前年比 2.9pt 増）で、いずれも調査開始以来最も高い結果となった。【図 3、4、5】

興味のある社会問題については、前年 1 位だった「伝染病・感染症対策」は前年比 27.4pt 減の 24.7% だった。代わって 1 位となったのは「少子化・働く女性支援（33.2%、前年比 7.3pt 減）」で、理系女子でも 1 位（42.7%、前年比 11.5pt 減）だった。文系女子の 1 位は「ジェンダー平等・社会的性差（48.9%）」で、文系男子では「格差社会（33.6%、前年比 0.1pt 増）」が初の 1 位となった。理系男子では「地球温暖化（36.0%、前年比 5.9pt 減）」が 1 位だった。【図 6、7】

これまでに選挙で投票したことがあるか聞いたところ、「はい」と回答した割合は 79.2% で、多くの学生に投票経験があることがわかった。投票に行かなかった人が行かない最大の理由を聞いたところ、1 位は「地元に戻らないと投票できないから（22.7%）」だった。【図 8、9】

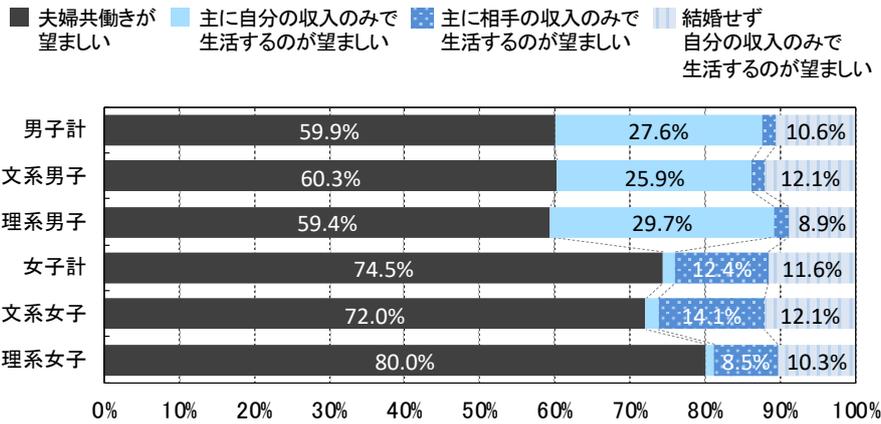
【調査担当者コメント】

興味のある社会問題で「伝染病・感染症対策」が半減するほど with コロナが日常化する中、女子を中心に「少子化・働く女性支援」や「ジェンダー平等・社会的性差」が非常に高い関心を集めています。結婚の形も、男女の共通認識として「共働き」が多数派で、夫婦が共に働き続けることを前提に自分

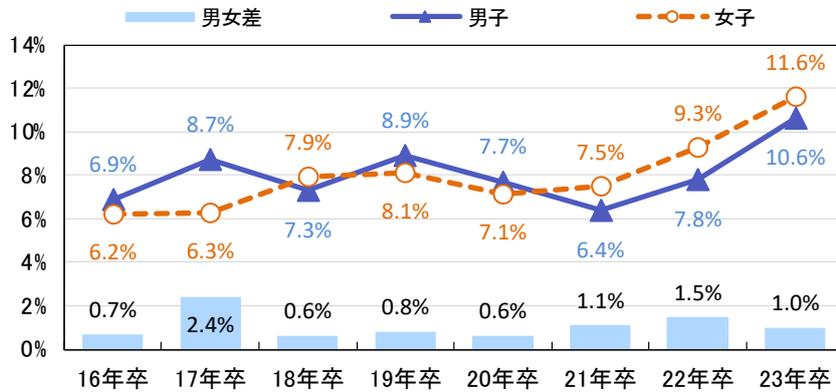
の将来や「子育て」を考慮することが、今年就職活動をする学生にとっては当たり前になっているようです。今後、彼らは就職先の企業について考えていく中で、自分自身と自分のパートナーとなる人が、結婚や子育てを経ながら共にやりがいを持って働き続けるために、「働く女性支援」や「社会的性差」の問題に対峙していくことでしょう。彼らを採用する立場である企業は、こういった彼らの問題意識に真摯に向き合うことが大切だと考えます。

マイナビキャリアリサーチラボ 研究員 石田 力

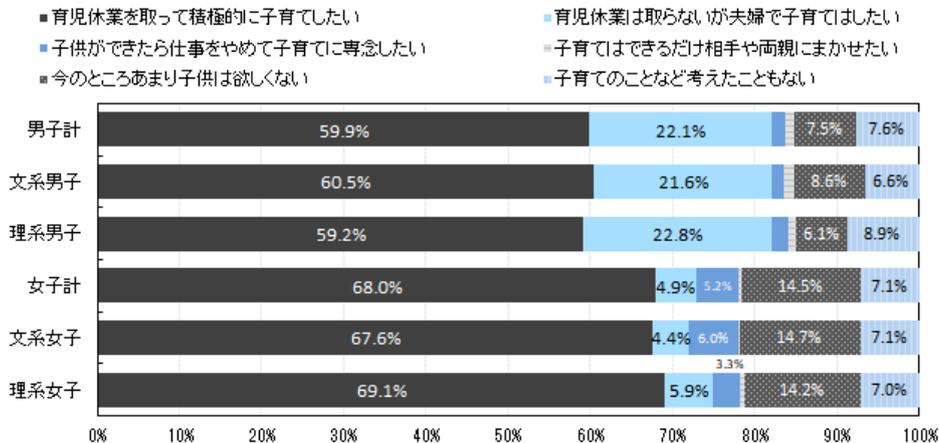
【図1】結婚後の仕事に関してどのように考えているか



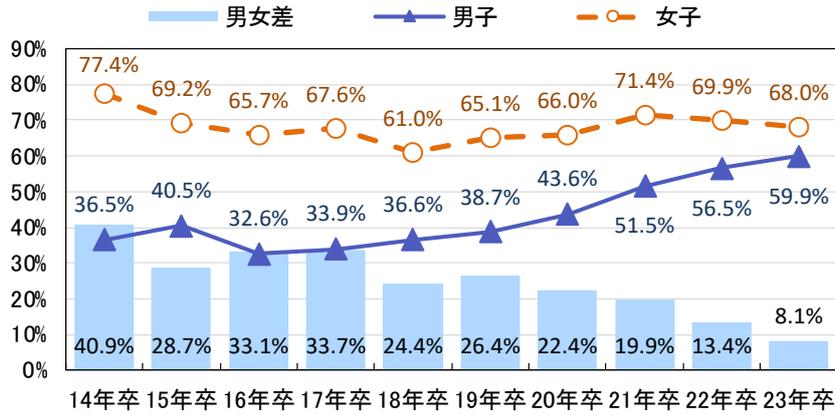
【図2】結婚せず自分の収入のみで生活するのが望ましいの推移



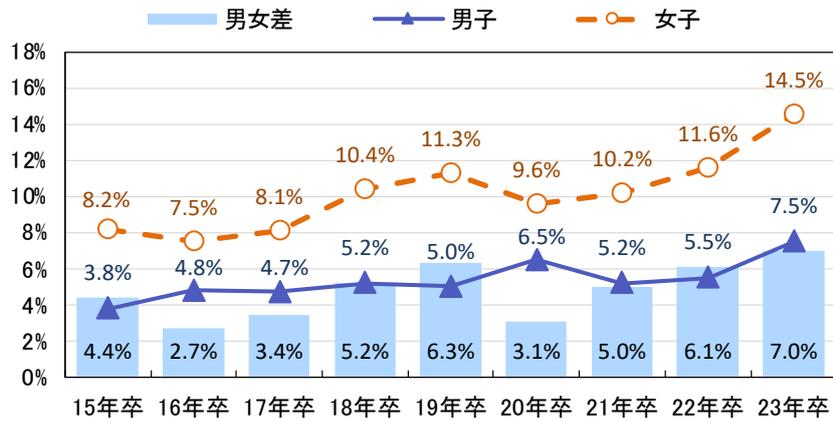
【図3】子育てについて、あなたの考えに近いもの



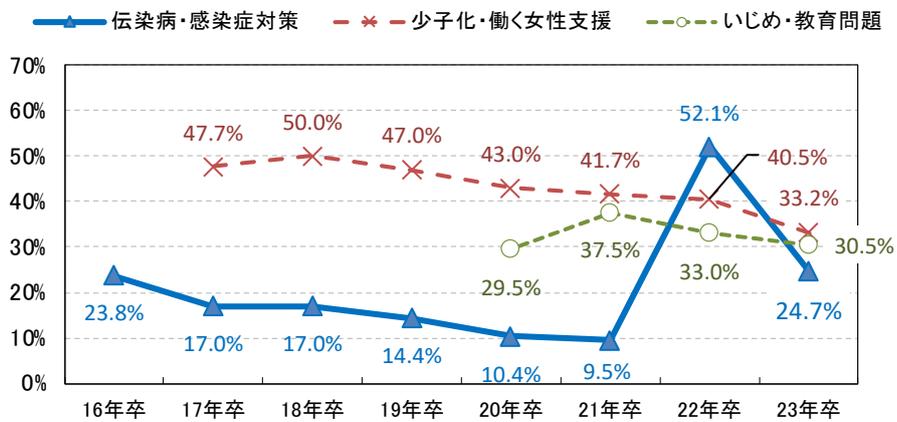
【図4】「育児休業をとって積極的に子育てしたい」の割合推移



【図5】「今のところあまり子供は欲しくない」の割合推移



【図6】興味のある社会問題（複数回答／一部抜粋）

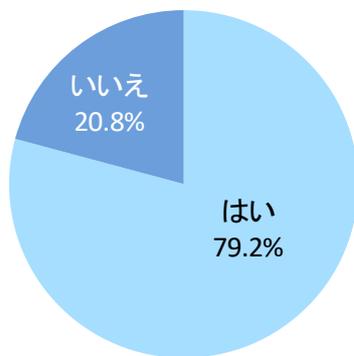


【図7】興味のある社会問題（文理男女別／上位抜粋）

	23年卒	22年卒	21年卒	20年卒	19年卒		23年卒	22年卒	21年卒	20年卒	19年卒
文系男子						文系女子					
1位 格差社会	33.6%	33.5%	31.6%	29.5%	32.8%	1位 ジェンダー平等・社会的性差*	48.9%	-	-	-	-
2位 いじめ・教育問題	33.2%	30.6%	35.8%	26.9%	-	2位 少子化・働く女性支援	46.7%	58.3%	60.1%	59.0%	64.7%
3位 高齢化社会・介護問題	28.7%	36.9%	37.8%	33.6%	38.3%	3位 LGBTQ+	42.2%	47.6%	40.1%	35.8%	32.9%
4位 地球温暖化	26.8%	31.7%	30.9%	28.2%	26.9%	4位 いじめ・教育問題	36.5%	41.3%	46.9%	36.6%	-
5位 少子化・働く女性支援	25.9%	29.8%	31.6%	32.4%	36.8%	5位 格差社会	31.1%	34.8%	33.2%	29.5%	35.0%
理系男子						理系女子					
1位 地球温暖化	36.0%	41.9%	41.5%	40.6%	38.4%	1位 少子化・働く女性支援	42.7%	54.2%	52.1%	59.0%	61.2%
2位 デジタル化・DX*	28.6%	-	-	-	-	2位 ジェンダー平等・社会的性差*	35.3%	-	-	-	-
3位 伝染病・感染症対策	27.2%	54.4%	11.4%	15.0%	19.3%	3位 地球温暖化	34.9%	36.5%	39.2%	37.4%	36.1%
4位 高齢化社会・介護問題	23.5%	31.1%	36.9%	34.6%	36.3%	4位 LGBTQ+	31.2%	31.6%	23.6%	25.0%	18.2%
5位 格差社会	21.5%	21.5%	24.4%	23.5%	22.5%	5位 伝染病・感染症対策	30.3%	56.9%	15.1%	19.0%	27.2%

*今年から選択肢に追加

【図8】これまでに選挙に行って投票したことはあるか



【図9】投票に行かない最大の理由 n=772

	全体	文系計	理系計
1位 地元に戻らないと投票できないから	22.7%	17.8%	30.5%
2位 投票に行くきっかけがないから	15.1%	14.9%	15.4%
3位 誰に投票したらいいのかわからないから	13.3%	13.9%	12.4%
4位 投票したい候補者がいないから	12.2%	12.4%	11.9%
5位 投票に行くことにまったく関心がないから	7.9%	8.1%	7.5%
6位 よくわかってないのに投票してよいかと思うから	7.6%	8.6%	6.1%
7位 投票所に行くのが面倒だから。ネットで投票できればする	5.7%	6.1%	5.2%
8位 投票に行っても何も変わらないと思うから	4.1%	4.3%	3.7%
9位 政治家はみんな信用できないと思うから	3.3%	4.3%	1.8%
10位 投票するための情報収集の方法が分からないから	1.4%	2.2%	0.2%

【調査概要】マイナビ 2023年卒 大学生のライフスタイル調査

- 調査期間／2021年11月26日（金）～12月22日（水）
- 調査方法／マイナビ2023の会員に対するWEBアンケート
- 調査対象／2023年3月卒業見込みの全国の大学3年生、大学院1年生
- 有効回答数／3,756名（文系男子663名 理系男子688名 文系女子1,609名 理系女子796名）
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認ください。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
キャリアリサーチラボ 研究員 石田
Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部 石井
Email : koho@mynavi.jp